

平成 6 年 6 月 招 集

第 2 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

館 山 市 議 会

目 次

第 2 回 定 例 会

◎第 1 号（6 月 1 5 日）

開 会	2
議長の報告	2
議案の配付	3
会議録署名議員の指名	3
会期の決定	3
会議日程の決定	3
議案第 2 8 号～議案第 3 0 号（提案理由の説明）	4
議員定数調査に関する件	6
議員定数調査特別委員会委員長報告	6
少数意見報告	8
延 会	1 0
本日の会議に付した事件	1 0

◎第 2 号（6 月 1 7 日）

開 議	1 2
行政一般通告質問	1 2
神田 守隆君の質問、当局の応答	1 2
鈴木 順子君の質問、当局の応答	3 1
斉藤 実君の質問、当局の応答	4 6
植木 馨君の質問、当局の応答	5 4
脇田 安保君の質問、当局の応答	6 9
散 会	8 7
本日の会議に付した事件	8 7

◎第 3 号（6 月 2 1 日）

開 議	9 0
議案第 2 8 号、議案第 2 9 号	9 0
神田 守隆君の質疑、当局の応答	9 0
委員会付託	9 5
議案第 3 0 号	9 5
委員会付託	9 5
請願第 1 8 号、請願第 1 9 号	9 6
委員会付託	9 6
議長の報告	9 6
延 会	9 6
本日の会議に付した事件	9 6

◎第 4 号（6 月 2 4 日）

開 議	1 0 0
議案第 2 8 号、議案第 2 9 号	1 0 0
総務委員会委員長報告	1 0 0
採決	1 0 2
議案第 3 0 号	1 0 2
文教民生委員会委員長報告	1 0 2
採決	1 0 3
継続審査について（請願第 1 8 号、請願第 1 9 号）	1 0 4
議長の報告	1 0 4
議員定数調査に関する件	1 0 4
採決	1 0 6
日程の追加・発議案第 5 号	1 0 8
説明	1 0 9
神田 守隆君の質疑	1 1 0
鈴木 順子君の質疑	1 1 4
委員会付託の省略	1 2 0

神田 守隆君の討論	1 2 2
鈴木 順子君の討論	1 2 4
採決	1 2 4
日程の追加・安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員の補欠	
選挙	1 2 7
日程の追加・千葉県競輪組合議会議員の補欠選挙	1 2 7
日程の追加・館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合	
議会議員の補欠選挙	1 2 8
常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任	1 2 9
常任委員会所管事務の閉会中継続調査について	1 3 0
閉 会	1 3 1
本日の会議に付した事件	1 3 1

第 2 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録
(第 1 号)

1 平成6年6月15日（水曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1番 秋山 光章
3番 島田 保
5番 宮沢 治海
7番 鈴木 順子
9番 脇田 安保
11番 山崎 雅己
13番 榎本 春光
15番 山中金治郎
17番 鈴木 忠夫
19番 川名 正二
21番 神田 守隆
26番 辻田 実
28番 飯田 義男

2番 増田 基彦
4番 斉藤 実
6番 植木 馨
8番 永井 龍平
10番 庄司二三男
12番 岩村 勝弘
14番 小宮 利夫
16番 鈴木 勝美
18番 日下 君敏
20番 生稲 陞
23番 石井 昌治
27番 横溝 功

1 欠席議員 1名

22番 福原 勤

1 出席説明員

市長 庄司 厚
収入役 川上 義雄
総務部長 神子 純一
経済部長 小沼 晃
水道課長 谷貝 実
教育委員会 高橋 博夫
教育委員会 平嶋 倫治
選挙管理委員会 田村 哲也
選挙管理委員会 監事 務局 査長

助役 小幡 清之
市長公室長 永野 修
民生部長 渡辺 富雄
建設部長 三平 孝司
教育委員会 滝口 喜雄
選挙管理委員会 加藤 利
監査委員 山田 教和
農業委員会 佐久間 宏
農事 務局 査長

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一

事務局長補佐 鈴木 哲

書記 四ノ宮 朗

書記 安田 仁一

書記 小山 真

書記 松浮 郁夏

1 議事日程（第1号）

平成6年6月15日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

日程第4 { 議案第28号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第29号 工事委託協定の締結について
議案第30号 平成6年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

日程第5 議員定数調査に関する件

開 会 午前10時08分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数25名、これより平成6年第2回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

◎議長（辻田 実君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から平成5年度定期監査及び2月乃至5月実施の監査結果、市長から一般会計及び下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書、水道事業特別会計繰越計算書並びに財団法人館山市開発公社及び財団法人館山市環境保全公社の経営状況説明書が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

◎議長（辻田 実君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたします。

配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（辻田 実君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

4番議員齊藤 実さん、23番議員石井昌治さん、以上兩名を指名いたします。

会期の決定

◎議長（辻田 実君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営委員会の意見は本6月15日から6月24日までの10日間ということであります。

お諮りいたします。会期を10日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 御異議なしと認めます。よって、会期は6月15日から6月24日までの10日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（辻田 実君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営委員会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間、議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長(辻田 実君) 日程第4、議案第28号乃至議案第30号の各議案を一括して議題といたします。

提案理由の説明

◎議長(辻田 実君) これより各議案に対する提案理由の説明を求めます。
庄司市長。

(市長庄司 厚君登壇)

◎市長(庄司 厚君) 本日ここに第2回市議会定例会を招集し、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしましたが、御審議の前に一言お祝いの言葉を申し上げたいと存じます。

このたび、千葉縣市議会議長会、関東市議会議長会及び全国市議会議長会から福原 勤議員が正副議長としての永年勤続自治功労の表彰の栄に浴され、また神田守隆議員、福原 勤議員、石井昌治議員、横溝 功議員がそれぞれ永年勤続自治功労の表彰の栄に浴されましたことは、まことにめでたい限りであり、心からお祝いを申し上げますとともに、今後とも市政発展のため御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本日提案いたします案件は、条例議案1件、一般議案1件及び補正予算1件でございます。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第28号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、被保険者の税負担の緩和を図るため、資産割の案分率、いわゆる資産割の税率の引き下げを実施しようとするもので、具体的には資産割の税率を100分の50から100分の45に引き下げようとするものでございます。

また、地方税法施行令の一部改正に合わせ、国民健康保険税の4割軽減世帯に係る所得の算定基準に用いる加算額を23万円から23万5,000円に引き上げようとするものでございます。

次に、議案第29号工事委託協定の締結についてでございますが、館山市公共下水道中部污水幹線管渠の建設につきまして、財団法人千葉県下水道公社と1億8,200万円をもって館山市公共下水道施設の建設工事委託に関する協定の締結をしようとするものでございます。

工事委託内容といたしましては、中部污水幹線401メートルの建設を行うものでございます。

次に、議案第30号平成6年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ3,909万3,000円を追加し、総額34億9,013万1,000円としようとするものでございます。

歳出の主な内容といたしましては、保険給付費のうち療養諸費では、診療費の減によりまして、一般被保険者及び退職被保険者の診療報酬でそれぞれ614万9,000円、932万8,000円の減、高額療養費では、診療費等の増によりまして、一般被保険者の高額療養費で395万7,000円の増、老人保健拠出金では、医療費拠出金で2,767万8,000円の増、事業費拠出金で、制度改正により208万9,000円の増、諸支出金のうち償還金では、過年度療養給付費交付金返還金及び過年度療養給付費等国庫負担金返還金でそれぞれ1,792万1,000円、246万8,000円の増、これは前年度の交付金等の精算に伴うものでございます。

以上、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げましたが、歳入におきましては、国民健康保険税で資産割の税率引き下げ等によりまして5,201万2,000円、療養給付費交付金で512万1,000円の減額がそれぞれ見込まれますので、これらの財源といたしまして、国庫支出金1,669万5,000円及び前年度繰越金7,953万1,000円をもって充当しようとするものでございます。

以上、各議案に対しましてよろしく御審議のほどお願い申し上げ、提案理由の説明を終わります。

◎議長（辻田 実君） 以上で提案理由の説明を終わります。

議員定数調査に関する件

◎議長（辻田 実君） 日程第5、これより議員定数調査に関する件を議題といたします。

議員定数調査特別委員会委員長報告

◎議長（辻田 実君） 本件は、昨年9月議会において特別委員会を設置し、調査を付託したものでございます。

よって、これより本特別委員会における調査の経過及び結果につき、委員長の報告を求めます。

議員定数調査特別委員会委員長飯田義男さん。御登壇願います。

（議員定数調査特別委員会委員長飯田義男君登壇）

◎議員定数調査特別委員会委員長（飯田義男君） 議員定数調査特別委員会におきます調査の経過及び結果について御報告申し上げます。

昨年の9月定例会において本市議会の議員定数に関する諸問題について調査検討することを目的に設置されました当委員会は、これまでに3回の委員会を招集し、調査を行ってまいりました。

以下、調査の概要について申し上げます。

まず、第1回目の委員会では、全国市議会議長会が行った全国633市の市議會議員定数に関する調査結果を資料として調査を行いました。

また、委員会の調査の進め方についても意見交換を行いました。

さらに、法定議員数36人は人口5万以上15万未満の市であり、人口の幅が広いことから、類似市についての資料収集を行うことといたしました。

第2回目の委員会では、類似市として人口5万以上8万未満の169市の減員状況について、人口、地域、面積等の観点から調査した資料を参考にしながら委員会の調査を行いました。

資料について簡単に申し上げますと、人口5万から8万の169市では全市が減員しており、減員率は27.1%、人数にして9.76人減員しております。

なお、人口5万から6万の75市を見ましても全市が減員しており、減員率は27.7%、人数にして9.97人の減員となっております。

次に、千葉県内各市の状況について見ますと、30市中、法定数の市は1市、29市が減員、減員率は15.5%で、人数にしますと5.9人となっております。また、県内で人口5万台の市は4市ありますが、10人減員の市が1市、8人減員の市が2市、6人減員の市が1市であります。

委員会での意見としては、「もっと活発な議会活動を望む声はあるが、定数削減の声は聞いていない」、「財政規模、人口から考えて、定数が多いとの声がある」、また、「議員定数問題は選挙された議員自らがしっかりした考えで判断すべき問題である」等の意見がありました。

第3回目の委員会では、各委員がそれぞれ検討してきた結果について考えを述べ合い、自由に意見交換を行いました。

主な意見としては、「市民、団体等の動きもあるし、委員会としての結論を出すべきである」、「市民は非常に関心を持っており、9月まで待たずに結論を出さないと委員会に対する批判が出る」、「住民の関心が高まっているのはよいことで、その理由を見きわめるべきである。しかし、経費の削減からの減員は考え違いだ」、また、「今結論を出すべきではなく、さらに討議すべきだ」等の意見がありました。

委員会の調査の中で、減員すべきであるとの意見と現定数を維持すべきであるとする意見に集約されたとして、結論を出すべきだとの意見があり、賛成多数をもって委員会としての結論を出すことに決定しました。

採決の結果、現定数を減員すべきであるとする意見を賛成多数をもって決定いたしました。なお、減員すべき人数については、委員会としては決定しないことにいたしました。

あわせて、現定数を維持すべきであるとする意見が少数意見として留保されておりますことを御報告申し上げます。

以上、委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告いたしました。が、何とぞ満場の皆様の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、議員定数調査特別委員会委員長報告を終わります。

少数意見報告

◎議長（辻田 実君） 次に、本件については神田守隆議員から少数意見報告書が提出されております。よって、少数意見の報告を求めます。

神田守隆さん。御登壇願います。

（21番議員神田守隆君登壇）

◎21番（神田守隆君） 去る5月23日に行われました議員定数調査特別委員会において、先ほど御報告のありました委員長報告に対しまして、私と鈴木順子委員とが反対をいたしました。ここに留保した少数意見について御報告し、皆さんの御賛同を得たく、よろしくお願い申し上げます。

委員長より御報告がありましたが、そもそも議員定数調査特別委員会の調査活動はまだ緒についたばかりであり、全国各地の議員定数の状況などを取り寄せたところにすぎません。まさにこれから本格的な審議に入るという前段の状態で、現在の議員定数28人を減員すべきかどうかの審議は事実上全く行っていません。9月議会ごろを目途に結論を出そうというのが申し合わせでもありました。5月23日の委員会において、とにかく減らすかどうかの結論を出そうという意見が出され、審議をしてから結論を出すことは当然としても、まだ具体的な審議もなしに結論を出すことには反対するとして、委員会の運営の仕方をめぐって対立いたしました。3対2で、審議をすべきという私たちの意見は少数として退けられましたが、果たしてこれで委員会としての責任を果たしたと言えるのか、私はこの点をまず指摘し、私たち少数意見の御理解を得たいと思うのであります。

さて、現在の定数は、特に減員をすべき特別の理由はないと考えます。審議がされていませんので、減員すべきとの論拠ははっきりしませんが、これまでのさまざまな状況から判断すると、主に経費削減がその主な論拠ではないかと考えられます。しかし、経費の問題についてあえて言うのであれば、減員よりもむしろ増員こそふさわしいと考えられます。300億円もの市の財政全体に目配りをし、それを監視する役割を担えるのは議員だけであります。この300億円にむだ遣いはないか、もっと合理的に改善できるものはないか、

あるいは談合などの不正が行われていないかなどを監視し、批判できるのが議員であります。市の財政全体の経費削減のためには、減員ではなく、むしろ増員の方が有効だと思います。経費削減のために議員を減らして、たとえ議員報酬などの経費が減ったとしても、その一方で議会の監視、批判機能が弱まり、市政にむだや不正がはびこるようになったのでは、何のための減員かということになります。経費削減のための減員論は議会の役割や機能についての誤解や無理解からのもので、正しく説明すれば理解されるものと考えます。法律的には、館山市議会は36人が定数です。この定数は経費論から本来考えられるべき問題ではありません。

私たち議員は、さまざまな地域、さまざまな考え方、さまざまな階層、さまざまな年代、さまざまな職業など、多様な市民のそれぞれの代表として、市民から直接選ばれて議員となっています。だからこそ、いろいろな立場、いろいろな意見、いろいろな考え方で、それぞれがさまざまな立場や考え方から市行政を監視し、批判する立場に立つことができます。市行政に不公正や偏りがあれば、それを正すことができます。また、さまざまな市民とさまざまな仕方でそれぞれの議員が結びついているからこそ、市民のさまざまな願いや意見を市政につなげることができるのであります。議員定数の問題は、市民のさまざまな立場や考え方をどのように議会の構成に生かしていくのか、それを通してまさに市民こそが市政の主人公との民主主義の根本をどう実現していくのかという問題なのであります。単に経費の問題だけで考えられる問題ではありません。私はできる限りさまざまな、多様な市民の声が議会に反映されるべきだと考えます。それが民主主義の大原則だと考えるからです。本来ならば法定数の36名でしかるべきですが、歴史的な今までの経緯を考えたとき、現在の定数を維持するというのが市議会にとって、また市民にとって大事なことだと考えます。むしろ減員は少数意見を議会構成からますます締め出すことになるだけで、さまざまな市民の意向を反映した市行政ということを考えた場合、マイナスであると考えます。

以上の点を主張し、私と鈴木順子議員の少数意見の御報告とさせていただきます。満場の皆様方のぜひ御理解を賜りたいと思います。よろしくお願

いたします。

◎議長（辻田 実君） 以上で委員長及び少数意見議員の報告を終わります。

延 会 午前10時33分

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（辻田 実君） 異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明16日は議案調査のため休会、次会は6月17日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第28号乃至議案第30号
- 1 議員定数調査に関する件